

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	令和7年度第2回 入間市行政改革推進委員会
開 催 日 時	令和8年2月2日(月) 午前10時00分 開会・午前11時00分 閉会
開 催 場 所	入間市役所 B棟5階 第3委員会室
議 長 氏 名	羽瀨 貴司(入間市行政改革推進委員会会長)
出席委員(者)氏名	荒井 英明、久礼 亮一、近藤 一幸、 外所 宏陽、羽瀨 貴司、宮部 圭太郎、吉川 哲夫
欠席委員(者)氏名	奥富 茂生
説明者の職氏名	企画課デジタル行政推進室長 古賀 直樹 企画課デジタル行政推進室副主幹 中島 良太
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	1 開会 2 会長あいさつ 3 議題 (1)「次期入間市行政改革大綱」及び「入間市DXビジョン」 (原案)について(公開) 4 閉会
非 公 開 理 由	-
傍 聴 者 数	0人

配 付 資 料	資料11：第2回 入間市行政改革推進委員会 次第 資料12：入間市行政改革大綱（素案）に対する委員意見への対応 資料13：入間市行政改革大綱原案（見え消し版） 資料14：入間市 DX ビジョン原案（見え消し版） 資料15：今後のスケジュール
事務局職員職氏名	企画部長 浅見 嘉之 企画部次長 片岡 成浩 企画課デジタル行政推進室長 古賀 直樹 企画課デジタル行政推進室副主幹 中島 良太 企画課デジタル行政推進室主任 金子 響 企画課デジタル行政推進室主事 豊泉 寿祈
会議録作成方法	要点筆記

会議録(2)

議事の概要(経過)・決定事項

議題(1)について事務局から説明した後、議論を行った。

(1) 「次期入間市行政改革大綱」及び「入間市DXビジョン」(原案)について

会議録(3)

発 言 者	発 言 内 容
議長	<p>(委員及び事務局の発言が行われた部分のみ記述する。)</p> <p>(1) 「次期入間市行政改革大綱」及び「入間市DXビジョン」(原案)について</p> <p>それでは、議題(1)「次期入間市行政改革大綱」及び「入間市DXビジョン」(原案)について議題とする。事務局から説明をお願いします。</p>
副主幹	<p>「入間市行政改革大綱」及び「入間市DXビジョン」について、資料12、資料13、資料14に基づいて説明。</p>
議長	<p>ただいまの事務局からの説明を踏まえ、質問等あるか。</p>
官部委員	<p>資料14の9ページ、重点取組事項に公金収納におけるe L-QRの活用の記載がない。記載がない理由はあるか。</p> <p>資料14の10ページのコラム「破壊的技術」に関して、この部分での説明がなくなると、17ページの心得3にある「破壊的技術を使う」が唐突となり、違和感がある。</p>
副主幹	<p>e L-QRの活用等の具体的な取り組みは今後議論させていただき実行計画の中で決定していく。</p> <p>「破壊的技術」に関して、ご指摘のように唐突な印象を与えないように、文章量を抑えた形で補足を加え、修正案を提示する。</p>
議長	<p>「破壊的技術」に関して、「革新的技術」等の文言に変えてはどうか。市民からすると何を破壊するのかわかりづらく、民間企業向けの使い方</p>

発 言 者	発 言 内 容
	あると感じる。
デジタル行政推進室長	様々な業務の固定観念を打ち破るという意味も込められている。
荒井委員	<p>前回、行政改革の目標は「住民満足度の向上」であると意見した意図は、行政改革に対する認識が、行政側はコスト削減や事業見直しをする「作業」と考えており、住民側も「サービス向上」とは考えておらず、目指すべきものを共有できていないのではないかというもの。職員に、行政改革は「住民満足度の向上」を目標としている認識をしっかりと持つように意識改革させることで、職員にも住民にも行政改革とは「住民満足度の向上」を目標としていることが浸透する。「住民満足度の向上」を、目標として職員にもってもらうため、「行政改革大綱」を職員間で共有することを盛り込んではどうか。</p>
デジタル行政推進室長	住民満足度を市民意識調査や窓口アンケートでの指標としつつ、職員の意識付けを行っていきたいと考えている。
荒井委員	そのサイクルを含めて大綱に盛り込んではどうか。
副主幹	推進体制に組み込む想定か。
荒井委員	冒頭に入れたいが、個別の推進方向「職員の人材育成の推進」部分にいられてはどうか。
副主幹	検討させていただく。
吉川委員	資料14の9ページにある、デジタルデバイドの具体的な対策は実行計

発 言 者	発 言 内 容
	画の中で決定していくのか。
副主幹	ご認識のとおりである。
会長	前回会議で指摘したカタカナ部分を修正いただいたが、まだわかりにくい部分がある。「AIフレンドリー」等を読んだときにわかりやすい表現にしてはどうか。資料14の9ページ、重点取組事項のRPAについても、日本語で書くとわかりやすい。
副主幹	検討させていただく。
近藤委員	用語解説が後ろについているが、脚注としてはどうか。 前回指摘した、減員化の部分については市民の役に立つ要素が追加されており、よく修正できている。
副主幹	用語解説について、検討させていただく。
吉川委員	資料13の10ページの補助金等のあり方の見直しに関して、団体が新たな行政改革に資する取組をした場合も、新たな補助金をもらえないということか。
デジタル行政推進室長	新たな補助金を貰えないということではなく、既存、新規問わず、目的等含め見直しを進めるということである。
会長	市民がAIを利用するときのセキュリティについてはどう考えているか。

発 言 者	発 言 内 容
デジタル行政推進室長	入力データがA Iに学習されないような安全なツールの選定、活用を行っている。今後もより安全なツールの活用を行う。
久礼委員	DXを推進するための職員の育成や職員が主体的に成長できる機会について落とし込まれている部分はあるか。また、職員が主体的に事業を進めていくための体制をどう考えているか。
副主幹	DXを使いこなすことに加えて情報収集感度を高めることが重要である。「DXビジョン」の心得2の「データを集める、使う、生み出す」の部分がアンテナを高く張るに該当する部分である。具体的な取り組みについては、今後実行計画の中で決定していく。
久礼委員	民間企業は行政を参考にしたい意識もある。今後議論していければと思う。
外所委員	全体的に技術を使って効率化していくことにフォーカスが当たっており、注目を集めやすくなっている。技術を使うことにより、職員の時間の使い方をより良くし、市民満足度の向上につなげていくといった姿勢を記載するといいいのではないか。
副主幹	検討させていただく。
会長	A Iで削減した時間をA Iができない仕事や住民サービスの向上にあてていく等の文言があるとよい。
副主幹	今後の流れについて、今回の会議の意見を踏まえ原案を修正する。その原案について了承をいただき、確定とさせていただく。その後パブリック

発 言 者	発 言 内 容
	コメントに移っていく。
会長	本日の議題はこれですべて終了である。
主事	3月にパブリックコメントを実施した後、令和8年5月に第3回会議を予定している。日時等の詳細については早い段階で候補日を決めてご連絡させていただく。
デジタル行政推進室長	本日の審議はすべて終了した。第2回入間市行政改革推進委員会を閉会する。
<p>議事のとん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。</p> <p>令和 8 年 3 月 5 日</p> <p>議 長 の 署 名 <u>羽 沢 貴 司</u></p> <p>議長が指名した者の署名 <u>ス 礼 亮 一</u></p>	